

間伐体験 2020・12・11

高向小学校・5年1組



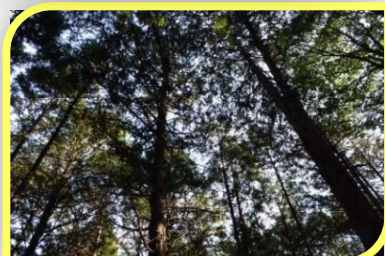
適度に日の光の差し込む明るい森林です



皇帝ダリア



ロープワークの基本 もやい結び



森林の働き

「地球温暖化」「異常気象」「温室効果ガス」最近よく耳にする言葉ですが、君たちも聞いたことがあると思います。

これらが原因で発生すると思われる大雨洪水、干ばつ、森林火災などのさまざまな自然災害を防ぐことはできるのでしょうか。それは簡単なことではありません。でも、誰かがやらなければ君たちが大人になるころ、もっとひどい事になっているかもわかりません。

私たちができることは何でしょうか？

一つは、健全な森林を育てることです。

森林には、大雨で土砂が流れ出すことを防ぐ働きがあります。ただその働きは、森林の地面に太陽の光が届いて、シダ類などの植物(下草)が生い茂る健全な森林に限られます。間伐などの手入れをおこたると、樹木が密になり暗い森林となって、下草が枯れて地面がむき出しの状態になってしまいます。そこに異常気象が原因の大雨が降ると、土砂が流れ出して樹木も倒れやすくなり「土石流」などの災害になってしまうのです。

手入れの行き届いた健全な森林では、樹木が根をしっかりと張り、下草などすべての植物が雨水をたっぷりと含み、地面にゆっくり浸透することで、川下へ時間をかけて流れていきます。その結果、水量が一定に保たれ、洪水や干ばつなどの災害を防ぐことができます。

君たちが間伐体験を行った河端ファームも、以前は日の光があまり届かない暗い森林でしたが、君たちの先輩が毎年間伐を繰り返して行ってきたことで、今では、君たちが感じたようにずいぶん明るい森林へと変わってきています。

次に、樹木は光合成によって二酸化炭素を吸収します。光合成とは、太陽光を利用して二酸化炭素から木のもととなる有機成分を合成する作用です。そして、この作用を通して、空気中の二酸化炭素が樹木に取り込まれるのです。光合成では、同時に酸素を発生させます。これが、二酸化炭素の削減にどれ程効果があるのかは、まだよく分かっているわけではありませんが、私たちは、まずできることから始めましょう。

コロナの年の間伐体験

「コロナの年」の森林での檜(ヒノキ)間伐体験は楽しかったですか？

ヒノキの皮むき体験の時に、ヒノキ独特のいい香りがしたと思います。ヒノキには昔から防虫効果があることが分かっています。神殿仏閣の建築に使われてきました。この香りの成分には、「ヒノキチオール」が含まれています。「ヒノキチオール」には抗菌効果がありますが、最近の研究では、新型コロナウイルス感染症の肺炎治療への活用も期待されています。



切り倒した後は、与真のようになるまでつながっています。

木へんの漢字(木へん+「春」「夏」「秋」「冬」)読めるかな？

- * 椿 (読み)) 写真 _____
- * 榎 (読み)) 写真 _____
- * 楸 (読み)) 写真 _____
- * 柊 (読み)) 写真 _____



(ア)



(イ)



(ウ)



(エ)



11月30日「森林の働きを学ぶ」

ぶ

ロープはきお見事!!

